

てからは少ない状態で経過した。火山性微動は、噴火活動の活発化に伴い、3月2日～8日と15日に火山性連続微動を観測した。また4月に入っても、4日～19日と26日～29日にかけて火山性連続微動を観測したが、3月に比べて振幅は小さかった。

(文責: 気象庁地震火山部火山課 相澤幸治)

○教員公募のお知らせ

【富士常葉大学環境防災学部（環境防災研究科併任）】

1. 職 名: 助教授
2. 所 属: 環境防災学部（環境防災研究科併任）
3. 専門分野: 地質学を中心とした環境防災科学
4. 担当科目等:
 - (1) 大学院関係（「防災地質論」の授業、「防災地質演習」「環境防災マネジメント特別研究」の指導など）
 - (2) 環境防災学部関係（専門科目「地球の物質とその変化」「地球のシステム」などの授業、「地学実験」「野外実習」および、ゼミナール、卒業演習、卒業研究などの指導（なお、地学実験や卒業研究指導では、偏光顕微鏡観察、XD, XRF, EPMA (EDS) による分析を含む）
5. 募集人員: 1名
6. 応募資格
 - (1) 博士号の学位を有すること
 - (2) 大学院の研究指導が可能なこと
 - (3) 富士市内または近郊に生活の本拠を置くことが可能なこと
 - (4) 環境防災に深い関心を持ち、一般教養教育についても、熱意を持って教育・指導できること
 - (5) 満40歳以下が望ましい（平成18年7月1日現在）
 - (6) 富士火山や静岡県東部の地質についての教育・研究を実施することができること
7. 採用予定時期: 平成18年9月
8. 応募締切期限: 平成18年5月31日（水）
9. 提出書類 以下の書類の形式は自由
 - (1) 履歴書（写真添付、学歴は高等学校卒業以上、健康に関する所見を含む、電子メールアドレスを記入のこと）
 - (2) 研究業績一覧表（著書、博士号取得論文を含む論文、最近5カ年間の口頭発表に分類し、論文については査読つきとその他に分けること）
 - (3) 主要論文（5編の別刷またはコピー（印刷中も含む）、各編200字程度の概要を添えること）
 - (4) これまでの研究についての説明（A4用紙1枚

以内）

- (5) 着任後の研究計画（A4用紙1枚以内）
- (6) 着任後の教育・学生指導に関する抱負（A4用紙1枚以内）
- (7) 推薦書1通と意見を伺える人2名の連絡先（住所、電話番号、メールアドレスなど）

なお、応募書類は個人情報保護の観点から、応募書類は選考以外の目的には使用しない。また、選考後、提出書類は本人に返却するので、返却先を書いた封筒を同封のこと。

10. 書類送付先

〒417-0801 静岡県富士市大淵 325

富士常葉大学 水野隆徳（宛）

（「環境防災学部（環境防災研究科併任）教員公募書類在中」と朱書き書留で送付）

11. 選考方法: 書類選考の上、面接

12. 問い合わせ先: 富士常葉大学環境防災学部教授 湯佐泰久

住所: 〒417-0801 静岡県富士市大淵 325

E-mail: yusa@fujii-tokoha-u.ac.jp

TEL: 0545-36-1133（代表） 0545-37-2054（直通）

13. その他

- (1) 審査の過程で面接および口頭による研究内容などの発表をお願いすることがありますが、旅費は支給できませんのであらかじめご了承ください。
- (2) 審査の状況により研究業績や教育経験についての追加書類や健康診断書を提出願うことがあります。
- (3) 本学部の概要などについては <http://www.fujii-tokoha-u.ac.jp/> をご参照ください。

（上記のお知らせは火山学会メーリングリストに5月2日送信しました）

○研究員の募集について

【独立行政法人海洋研究開発機構】

独立行政法人海洋研究開発機構地球シミュレーターでは、

- * 固体地球シミュレーション研究グループ、
- * 複雑性シミュレーション研究グループ、
- * 高度計算表現法研究グループ、
- * 応用シミュレーション研究グループ

の研究員を合計4名程度募集します。

応募の締切は平成18年6月30日（金）です。

詳細は以下のURLを参照ください。

<http://www.es.jamstec.go.jp/esc/jp/>

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに5月2日送信しました)

○成果発表会開催案内

防災科学技術研究所第5回成果発表会開催案内

「～5年間の統括と今後の展開～」

日時: 平成18年6月13日(火) 10:00～17:00

場所: つくば国際会議場(エポカルつくば URL <http://www.epochal.or.jp>)

茨城県つくば市竹園 2-20-3

第1部 火山・気象・雪氷等の災害軽減に向けて

第2部 地震災害軽減への挑戦

主催・問い合わせ先:

独立行政法人防災科学技術研究所企画部広報普及課

TEL 029-863-7792

入場料無料・講演概要集: 無料

定員 324名(参加申し込みの状況により人数調整の場合あり)

申し込み先, 詳細: <http://www.bosai.go.jp>

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに5月23日送信しました)

○「火山学フィールドコース」参加者募集

北大理学院では文科省「魅力ある大学院教育イニシアチブプログラム」の一環として、今年度も「全国大学院共通滞在型教育プログラム」を実施します。当院自然史科学専攻では、今年度のプログラムのひとつとして下記のフィールドコースを実施することになりましたので、全国の大学院生に参加者を募ります。なお前年度の概要は以下, <http://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~pv2/nz/index.html>

- このプログラムでは北大理学院の講義・実習でその達成度により当院の単位を取得可能。他大学の大学院生は本学の特別聴講学生として参加。
- 参加希望者は氏名・所属大学院・学年・指導教員名を明記して、メールで中川 (nakagawa@ep.sci.hokudai.ac.jp) か吉本 (m-yoshi@mail.sci.hokudai.ac.jp) まで
- 申し込み締め切り: 6/9(金)。
- 応募者多数の場合には、学生の学年・研究内容・経験・業績・意欲等により、指導教員と協議のうえ選抜。

(注意) 参加が認められた他大学の大学院生は、「特別聴講学生としての受入依頼」並びに「授業料の相互不徴収」に関する手続きが必要。早めに、所属する大学院の教務担当係あて相談のこと

《上記手続きに関する所属大学担当者からのお問合せ先》

北海道大学 理学・生命科学事務部 大学院教育係長
TEL. 011-706-3675, Fax. 011-706-3279

e-mail: yoshii@jimu.hokudai.ac.jp

- コース名: 火山学フィールドコース in 北海道
 - 概要: 本学自然史科学専攻の大学院カリキュラムのひとつとして行う、日本・アメリカ・ロシア・ニュージーランドの4ヶ国の大学院向けの火山学フィールドコースで、講義およびフィールドワークの実習を受ける。講義・実習の達成度により、本専攻の単位を認める。
 - 対象: MC1～2 および DC1～3 で、学部や大学院で火山学関連の講義・実習を受けていること、あるいは同等の経験・能力があると認められたもの。なお文科省はこのプログラムを「若手研究者養成のため」と位置づけており、MCの学生はDCへ進学する予定であることが望ましい。
 - 認定する授業科目及び単位
(18年度入学者)「マグマ科学特論」(2単位)または自然史科学特別講義 I～IVのうち2講義分(合計2単位)
(17年度あるいはそれ以前の入学者)「火山物質科学特論」(2単位)または特別講義 1A～10Bのうち2講義分(合計2単位)
 - 担当講師
中川光弘・吉本充宏(北大), C.J.N. Wilson, D. Gravelly (Univ. Auckland, NZ), 他に TA3名(北大)
 - 参加学生: 日本人: 10名, アメリカ: 3名(決定), ロシア: 3名(決定), ニュージーランド: 4名(決定)
 - 期間およびコースの概要: (変更の可能性あり)
7月12日(水) 札幌発 十勝岳温泉
7月13日: 十勝岳巡検
7月14日: 大雪山巡検
7月15日: 十勝三股カルデラおよび阿寒火砕流
7月16日: 阿寒・屈斜路火砕流
7月17日: 摩周カルデラおよび屈斜路カルデラ
7月18日: 雌阿寒岳巡検
7月19日: 阿寒より大滝へ移動
7月20日: 支笏カルデラおよび樽前山
7月21日(金): 樽前山, 夕方札幌で解散
 - 費用: フィールドコース参加費(宿泊費等)はプログラムで負担。昼食代(1日1,000円程度)は自費。北大以外の学生は札幌までの往復旅費は自己負担が原則(一部はプログラムで補助できる予定)。
- (上記のお知らせは火山学会メーリングリストに5月23日送信しました)

平成 18 年 6 月 5 日

平成 18 年度日本火山学会賞および日本火山学会研究奨励賞候補者の公募要領

特定非営利活動法人日本火山学会
会長 渡辺 秀文

特定非営利活動法人日本火山学会では、平成 18 年度日本火山学会賞・同研究奨励賞候補者の推薦を以下の要領で公募しますので、ふるってご応募下さい。

なお、日本火山学会論文賞については公募をしません。

表彰事業の内容

1. 日本火山学会研究奨励賞 (Young Scientist Award): 火山学に関する優れた論文を発表し、将来、火山学の発展への貢献が期待される本会会員で、平成 18 年 4 月 1 日で 35 歳以下の者。(今回の公募対象)
2. 日本火山学会賞 (Volcanological Society Award): 日本の火山学の発展に特段の貢献のあった個人または団体。非会員でも対象になります。(今回の公募対象)
3. 日本火山学会論文賞 (Best Paper Award): 雑誌「火山」あるいは「Earth, Planets and Space」に火山学に関する優れた論文を発表した本会会員。平成 18 年度の対象論文は過去 1 年間に出版されたものとします。(公募はしません)

推薦方法

- ・自薦・他薦を問いません。
- ・推薦者は非会員であっても構いません。
- ・下記の「推薦に必要な提出資料」を学会事務局までお送り下さい。

選考方法と受賞

- ・各賞選考委員会が上記 3 賞受賞候補者の選考を行い、理事会において決定します。
- ・本年 10 月に開催される臨時総会(阿蘇)において承認された後、賞状の授与を行います。
- ・日本火山学会賞受賞者には総会で記念講演を行っていただきます。また、日本火山学会賞と同研究奨励賞受賞者には、それぞれ、受賞対象となった研究課題に関連する論文(レビュー論文)の「火山」への投稿をお願いします。

推薦の締め切り

平成 18 年 8 月 18 日(金) 必着

推薦に必要な提出資料

以下のうち、1 を電子メールの添付ファイル(MSWord かテキストファイル)として火山学会事務局に送信下さい。また、2 を郵送してください。電子メールで送る場合は、必ず、subject に「学会賞申請」あるいは「研究奨励賞申請」と明記して下さい。郵送の場合は、封筒の表に同様に朱書きして下さい。

1. 申請書類（様式は自由であるが必ず以下の項目を含むこと）

- (1) 推薦対象の賞名（研究奨励賞か学会賞かのいずれかを記述）
- (2) 被推薦者氏名、生年月日、所属、連絡先、電子メールアドレス。団体の場合は、団体名、連絡先、代表者名とその連絡先などを記述のこと。
- (3) 被推薦者の学歴、職歴、研究歴（様式自由）。団体の場合は活動歴。
- (4) 推薦者氏名、所属、連絡先、電子メールアドレス、被推薦者との関係。自薦の場合は、本人の研究活動を熟知する照会者（推薦者や照会者は複数であっても構わない。）
- (5) 受賞対象となる研究課題名（40字程度以内）。
- (6) 推薦理由
 - ・1000字以内で簡潔に推薦の理由、特に、被推薦者（あるいは団体）の研究活動の火山学における重要性（もしくは評価されるべき点）をできるだけ具体的に記述すること。
 - ・研究奨励賞においては、対象となる論文（複数可）も明記すること。
 - ・学会賞においては、被推薦者（あるいは団体）の活動に関して、日本の火山学の発展への貢献度や社会的な位置付けについても簡潔に記述すること。
- (7) 主要な業績のリスト
 - ・最近のものから通し番号を付して記述する。
 - ・主な業績については、それぞれ、その内容と火山学的位置づけを250字以内で解説すること。
- (8) 本人の承諾書
 - ・他薦の場合は、被推薦人本人（あるいは被推薦団体代表者）が電子メールで事務局に直接送信のこと。自薦の場合は不要。
 - ・研究奨励賞においては、本人の研究活動に関して火山学における位置づけについて自らの見解（500字以内）を必ず記述すること。

2. 参考資料

- ・選考のために参考となる、業績などの客観的な資料（別刷など）を1部ずつ添えること。
- ・別刷の場合は、主なもの。
- ・提出資料は要求がない限り返却しない。

推薦書提出先

〒113-0023 東京都文京区向丘2-8-7 crest 本郷202号
特定非営利活動法人日本火山学会事務局
TEL: 03-3813-7421 (FAX 兼用)
e-mail: kazan@khaki.plala.or.jp

問い合わせ先

各賞選考委員長 井口正人（京都大学防災研究所火山活動研究センター）
TEL: 099-293-2058/FAX: 099-293-4024
e-mail: iguchi@svo.dpri.kyoto-u.ac.jp

選考委員（各賞選考委員会）（平成18年7月以降）

井口正人、小川康夫、鹿野和彦、風早康平、木村純一、小林哲夫、寅丸敦志、中村美千彦、山里 平